



～はじめに～

- 1) 燃料タンクに木質ペレット（推奨燃料は、ホワイトペレット）を投入してください。
- 2) 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- 3) 燃烧室扉を開け、燃烧室内の燃烧バーナーが确实におさまっているか確認してください。（図1）
- 4) 燃烧室扉を閉め、燃烧室扉・灰トレイが确实に閉まっているか確認してください。



図1

～本体を動かす（着火させる、燃烧させる）～

- 1) 本体右側面の操作部のスタートスイッチを押してください。（図2）
- 2) 燃料供給ダイヤル（下側のダイヤル）を右廻しして、12時の位置にしてください。（図2）

●スタートスイッチの上のランプは着いたり消えたりしますが、異常ではありません。

ランプが着いたままで、燃料供給がなされていない場合は、排気経路を確認してください。

●右図の「BLUE ZONE」「RED ZONE」は通常使用しない範囲ですが、燃料の種類や燃焼の諸条件により、燃えが悪くなったり燃え過ぎたりする場合にのみ利用してください。

- 3) 本体左側面の燃焼用空気調節レバー（ダンパーロッド）を、一旦押し切ったところから20～30mm程度引っ張ってください。（図3）

●着火までは、おおよそ5～10分要します。

●着火する寸前は1～3分程度白煙の排気が出ますが、着火しましたらほぼ白煙は無くなります。

- 4) 本体右側の操作部の送風ファン調節ダイヤル（上側のダイヤル）を廻して、お好みの温風量を設定してください。（図2）

●送風を止める場合は、左廻りにカチッと音がするまで廻し切ってください。

●送風ファンを廻さずに放置しますと、本体が過熱してしまい、安全装置が働いて強制的に最大量の送風が送られるようになります。また天板が加熱してヤケドする恐れがありますので注意してください。

- 5) スタートスイッチを押して約15分経過後に止まった場合は、燃料が正しく供給されていないか、低い室温からスタートした為、排気温度が規定温度まで達していないことが考えられます。

燃料が正しく燃焼バーナー内に投下されているかを確認し、再度スタートスイッチを押して、再点火操作してください。

●運転途中で止まった時、白煙が室内に漏れることがあります。あわてずに窓を開け、再点火操作をおこなってください。



図2

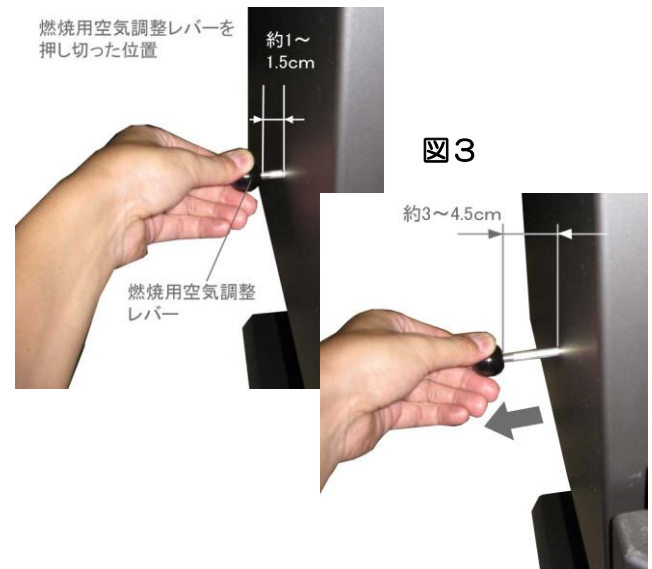


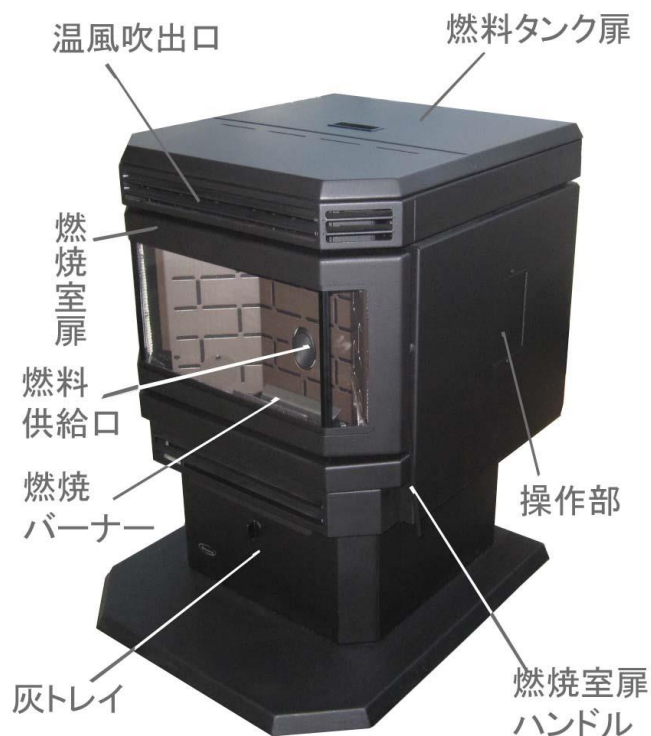
図3

<裏面につづく>

～本体を止める（消火する）～

- 1) 燃料供給ダイヤル（下側のダイヤル）を左廻りにカチッと音がするまで廻し切って下さい。
- 2) 消火の確認をおこなってください。

●通常は、消火操作を行ってから火種が5～10分程度で無くなり、20～30分経過して本体の電源がOFFします。（排気温度が規定以下まで下がったとき）



各部のなまえ

